



親子で過ごした「ふれあい学級」

今年の 1 月は、例年に無く寒さの厳しい日が多く、毎日プールの水が凍っています。でも子どもたちは寒さに負けず、元気に運動場を走り回っています。

そんな中、1 月 18 日(土)に、普段家庭や学校では味わえない活動を、親子で体験してもらおうと「ふれあい学級」を実施しました。朝から子どもたちはソワソワ・ドキドキの状態で嬉しくてたまらない様子でした。

今年の活動内容は、恒例の「親子餅つき」

「親子スポーツ」と 7 種類の「親子体験教室」の 3 本立てで実施しました。

「親子餅つき」は、特に全員の手洗いや、餅を調理する人にマスクや手袋をお願いするなどして、衛生面に配慮しました。また、平成こども塾の方を講師にお招きし、安全で楽しくスムーズにできるようにも配慮しました。幸いにも風は弱く、暖かな日差しのおかげで気持ちよく餅をつき、おいしく食べることが出来ました。もっと食べたかった子どもも多くいたようです。



【餅つきの様子】



【親子スポーツ】

「親子スポーツ」は、今年で 3 回目です。地域の長久手市スポーツ推進委員の方々を講師にお招きし、1 年生から 6 年生と保護者の方が無理なく楽しめるようにと企画していただき、体育館で実施しました。後半の「子ども対保護者」のゲームでは子どもチームが勝って子どもたちの得意げな顔が多く見られました。親子で気持ちよい汗をかいていただけたことと思います。

「親子体験教室」は、昨年同様の講座を 7 種類・12 講座開設しました。どの講座も親子で楽しんでもらえるようにと講師の方々が工夫・準備をしてくださいました。どの講座も楽しい内容で、親子で協力して取り組んでいる微笑ましい様子が多く見られました。そして終わりには、出来上がった作品を大切にまた自慢げに持ち歩く姿が多く見られました。

「ふれあい学級」が無事終了し、講師の方々やご来賓の方々、保護者の方々のご協力に感謝申し上げます。お世話になりました。また保護者の方からの「アンケート」を見させていただき、大変多くの家庭が充実した一時を過ごされたことと感じ取りました。ご協力、ありがとうございました。昨年の「ふれあい学級」で寒い中で植樹した木々は、ほとんど枯れることなく順調に育っています。今後も大きく育ってほしいものです。